

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要					
事務事業名	62-1	美濃市立美濃病院改革プラン継続策定	担当課	美濃病院事務局管理課	
			作成者	井川・鶴飼泰	
施策体系	行政分野	①健康・福祉		施策分類	4医療
	総合計画上の施策名	15	美濃病院の安定経営の維持		
	施策名(評価単位)	(37)	美濃病院の安定経営の維持		

2. 事務事業の目的	地域医療を確保するため美濃病院に課せられた役割を明確にしながら、安定的な経営の下で良質な医療を継続して提供できる体制を維持するため。
------------	--------------------------------------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<ul style="list-style-type: none"> ◆改革プランの検証を行いました。 ◆収益に関する事 <ul style="list-style-type: none"> ・CT、MRIの高度医療機器を更新し、画像診断の精度を高めることができました。 ・病床利用率を維持できました。 ・常勤医師を2名採用し、診療体制の充実を図りました。 ・在宅療養等の退院後の支援のため、関連施設との医療情報の共有化を促進しました。 ◆経費に関する事 <ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房運転の適性化により、燃料費のコストが削減できました。 ・後発医薬品への切り替えを促進しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	500,000	500,000	500,000	500,000
② 人件費	9,600,000	9,600,000	8,400,000	8,800,000
③ 合計コスト ①+②	10,100,000	10,100,000	8,900,000	9,300,000
前年度比		100.0%	88.1%	104.5%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	10,100,000	10,100,000	8,900,000
④ 活動一単位当たりコスト	33.3	42.1	40.5	131.2
前年度比		126.3%	96.1%	324.2%
⑤ コストに関する増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ◆平成25年度は、業務量の見直しにより合計コストが減少しました。 ◆前年度と比較して、外来患者数の減少や人件費等の増額により純損益が減少したため、活動一単位当たりコストが増加しました。 			

(3) 活動指標	指標名	純損益				単位:	千円
	指標説明	収益的収支における純損益(収入-支出+特別損益)状況					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	303,110	239,902	219,900	70,881		

4. 評価・課題
<ul style="list-style-type: none"> ・病院改革プランによる取組みにより、決算については単年度黒字の計上が継続することができました。 ・健診棟、外来棟の増築及び老朽化した医療機器への設備投資が必要になるため、今後、予算配分に一層留意していく必要があります。

5. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
<ul style="list-style-type: none"> ・電子カルテの活用と更新した高度医療機器を活用し、医療サービスと医療レベルの向上を図り、収益確保につなげていきます。 		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	柴田 徳美
<ul style="list-style-type: none"> ・病院改革プランの方針及び目標値の達成を目指し活動したことにより、健全な病院運営に成果があったと評価できます。 ・安定経営を維持しながら、充実した医療サービスを提供していくためには、病院改革プランの策定は必要と考えられます。今後も医療関係の情報収集を積極的に行い、動向を迅速に捉えて適切に対応できるよう継続策定を実施することとします。 		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	62-2 医療機器の計画的整備	担当課	美濃病院事務局管理課
		作成者	市原時正・坂徳人
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類 4医療
	総合計画上の施策名	15 美濃病院の安定経営の維持	
	施策名(評価単位)	(37) 美濃病院の安定経営の維持	

2. 事務事業の目的	医療水準向上のための現在未整備である新規医療機器の導入を進めると共に、限られた予算の中で計画的に老朽化した機器を更新することを目的とします。
------------	------------------------------------------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<p>更新した医療機器</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CT ・MRI ・透析用患者監視装置 ・シングルトリガースモールハンドピース ・オートレフケラト/トノメーター ・糖尿病検査自動分析器 ・消化器内視鏡システム一式 ・輸液ポンプ30台 <p>平成15年度(新病院移転時)に購入した100万円以上の医療機器、医療情報機器のうち今年度は金額ベースで17.1%更新しました。なお、全体では45.2%の更新が終了しました。</p>

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費		19,991,575	208,529,300	199,973,250	28,142,640
② 人件費		11,600,000	11,600,000	10,400,000	8,800,000
③ 合計コスト ①+②		31,591,575	220,129,300	210,373,250	36,942,640
前年度比			696.8%	95.6%	17.6%
財源内訳	国・県支出金				
	市債		170,000,000	166,300,000	
	その他特定財源				
	一般財源	31,591,575	50,129,300	44,073,250	36,942,640
④ 活動一単位当たりコスト		35,101,750.0	12,948,782.4	12,302,529.2	18,471,320.0
前年度比			36.9%	95.0%	150.1%
⑤ コストに関する増減理由		平成25年度はCT・MRIの更新を行ったためコストが増加しました。(計182,096,250円)			

(3) 活動指標	指標名	医療機器更新率の上昇値				単位:	%
	指標説明	新病院移転時の更新対象医療機器を基準に金額ベースでの更新率の上昇値を算出					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	0.9	17	17.1	2.0		

4. 評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院内の各部局の意見聴取や医療機器の点検等により、老朽化した機器の更新、新規購入ができました。 ・ 今回より活動指標を品目ベースから金額ベースに変更しました。品目ベースでは高額な医療機器を更新する際も数でしか評価ができず、経営指標としては評価がしづらいと判断しました。 ・ 耐用年数を著しく過ぎた機器については故障のリスクが高まり、緊急の購入や修繕の要因となります。半数以上の機器が購入から10年以上経過している中で、計画的更新を進める必要があります。 	

5. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化し更新時期を迎える機器について、使用頻度、重要度、価格等を考慮し、優先順位を定め、更新計画を立てていきます。 		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	柴田 徳美
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院施設、医療機器等の新規購入及び更新は、満足度の高い医療サービスの提供と医療レベルの向上に必要と考えます。 ・ 平成25年度は、CT・MRIの更新をし、医療レベルの向上に寄与しました。また、これにより高額機器である電子カルテ・CT・MRIの更新が終了しました。来年度以降は、優先順位を考慮しながら更新計画を立案していくこととします。 		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	62-3	健診メニュー及び予防医療の充実	担当課	美濃病院事務局管理課
			作成者	鶴飼恭・亀山・杉政・須田
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類	4医療
	総合計画上の施策名	15	美濃病院の安定経営医事	
	施策名（評価単位）	(37)	美濃病院の安定経営医事	

2. 事務事業の目的	健診メニュー（オプション）・ワクチンの種類の増加と受診環境整備及び受入体制の拡充や、要精密判定対象者には二次検査の案内を入れたり、受診後の追跡を行う事により市民の健康維持増進に寄与することを目的とします。
------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成25年度）	<ul style="list-style-type: none"> 新規事業所に対し訪問及び電話によるPRとニーズの把握 必要とされる健診内容を把握して、ニーズにあった健診セットメニューを作成しました。 予防接種受診者の接種内容を効率的に把握するために運用表を作成しました。 健診受診者の要精密検査について（胸・胃・便・子宮・乳・前立腺）二次検査受診票を作成し、返信用封筒と一緒に送る事にしました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	590,000	620,000	620,000	620,000
② 人件費	18,000,000	18,000,000	21,200,000	18,800,000
③ 合計コスト ①+②	18,590,000	18,620,000	21,820,000	19,420,000
前年度比 (%)		100.2%	117.2%	89.0%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	18,590,000	18,620,000	21,820,000
④ 活動一単位当たりコスト	1,239,333.3	886,666.7	872,800.0	746,923.1
前年度比 (%)		71.5%	98.4%	85.6%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	事業所への訪問、電話打合せ回数				単位:	回数
	指標説明	訪問・依頼に応じて話し合いをした回数					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	15	21	25	26		

(4) 成果指標	指標名	新規健診メニュー（オプション）・ワクチンの種類				単位:	個	評価:	+
	指標説明	新規健診メニュー（オプション）・ワクチンの種類の増加							
	目標値の設定方針	前年度より2件増加							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	70	72	74	75				
	実績値	70	73	73					
達成度 (%)	100.0%	101.4%	98.6%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	B
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes		No	1		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> 新規健診項目について、健診システムの改正があったのでまとめて項目を追加し、新しく1種類の検査項目を追加できました。 予防接種受診者の運用表を作成したことにより、一人ひとりの接種内容を把握する事ができました。 二次検査受診票の郵送が始めましたが、追跡調査まで手がまわらず、未受診者の把握できていません。 	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
<ul style="list-style-type: none"> 受診者の希望や外来で実施しているのに、健診で実施していない検査をさがして、健診でできないか検討します。 返信のない要精密検査の方に期間を決めて受診されたか案内をし未受診者には案内をします。 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	柴田 徳美
<ul style="list-style-type: none"> 健診事業については、受診者数も増加しており、実施事業所及び受診者からの評価も良好でした。今後も継続した評価を得るために、受診環境整備、メニューの増加や二次検査未受診者への対応などが必要です。 予防接種は、接種前問診、手順等に留意し適切に実施できました。 		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（建設事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	62-4	病院施設の計画的整備	担当課	美濃病院事務局管理課
			作成者	小森誠・坂徳人
施策体系	行政分野	①健康・福祉		施策分類
	総合計画上の施策名	15	美濃病院の安定経営の維持	
	施策名(評価単位)	(37)	美濃病院の安定経営の維持	

2. 事務事業の目的	受診・検診の効率性の向上と診療環境の充実を目的とします。
------------	------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の必要性 (当初計画時)	H15年に新築し10年が経過しました。経年による補修、健康管理・予防の重要性を認識される市民がますます増加していることや10年後の地域包括ケアを充実させるための施設整備の必要がありました。

(2) 事業の全体計画	予定全体事業費（単位：円）【A】	1,492,750,920	事業実施期間	H25年度～H27年度
	事業概要	検診棟及び外来棟増築工事 平成25年度 基本設計 平成26年度 実施設計 平成27年度 増築工事		

(3) 事務事業実施にかかるコスト				
単位：円				
区分	～平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
①事業の実施内容			基本設計着手	基本設計・実施設計完了
②直接事業費			0	32,667,600
③人件費			2,800,000	9,200,000
④合計コスト ②+③	0	0	2,800,000	41,867,600
前年度比				1495.3%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			30,000,000
	その他特定財源			
	一般財源	0	0	2,800,000
⑤進捗率(%)				
⑥進捗率：金額Σ②÷【A】(%)	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%
⑦特記事項	平成25年度は基本設計に着手したが、年度内に完了せず平成26年度へ繰り越したため、直接事業費は0円となりました。			

4. 事務事業の評価		
(1) 事業を取り巻く環境の変化 (当初計画時における環境との対比)	今まで	特になし
	今後	特になし
(2) 現状と課題の認識	基本設計は次年度へ繰り越すこととなったが、実施設計・建設工事についての進捗率の向上が課題です。	

5. 課題への対応策	
実施設計の平成26年度内完了に向け、基本設計の早期完了をすすめ実施設計受託事業者と連携します。	

6. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	柴田 徳美
本事業は、現在および10年後の利用者へのサービス向上のために必要事業です。平成27年度事業完了は困難な進捗状況ですが、増築内容の十分な検討をするとともに受託事業者との連携により進捗率を向上させます。			
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	